

令和6年度 指定管理業務 事業評価表

1. 評価対象施設

公の施設の名称	四国中央市太陽の家		
施設所管課	福祉部	発達支援課	
指定管理者名	社会福祉法人 えんわ		
指定期間	R5年	4月	1日 ~ R7年 3月 31日
	2年目		

2. 評価表

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令順守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じている。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市との連絡調整を適切に行っている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
	《①の総括》		B	B
	指定管理者の自己評価	これまで以上に利用者主体の支援を基本とし、職員の専門性向上のための研修を実施、適正な人員配置、法令に基づく各種点検の実施等によりサービスの履行に務めました。また、適宜必要な会議を開催し、毎月の運営委員会等において市への報告や相談、調整を滞りなく行いました。更に緊急の対応に備え、定期的に避難訓練等を実施するなど、安全・安心の確保にも努めました。		
施設所管課の評価	基本協定、事業計画に基づき、適切に管理・運営が行われている。また、法令を遵守し、市と連携しながら適切に対応し、入所者の安心・安全な生活を確保できるよう努めている。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
②サービスの質の評価	施設管理	事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用者の人権を尊重するための周知や啓発を行っている。	B	A
		利用者への説明や同意（自己決定）が適切に行われている。	B	B
		生活環境の改善など、利用者の満足度の向上に努めている。	B	A
		安全・安心を確保するため組織的な取り組みが行われている。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	地域交流	共生社会の実現を視野に、地域との連携や交流を行っている。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	苦情対応等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	B	B
	指標の達成状況	利用者に対する生活介護サービスの年間提供割合を満たしている。	B	B
		利用者の地域移行等の数を達成している。	A	A
《②の総括》		B	B	
指定管理者の自己評価	法令に基づく施設設備の定期点検はもとより、老朽化した施設の修繕を計画的に実施し、安全で快適な利用環境の維持に努めました。また、利用者のニーズを尊重した生活スタイルを各所に取り入れ、地域交流イベントなども積極的に行い満足度の向上を図りました。そのような状況からか、今年度は特に苦情は寄せられず、指標である地域移行では、昨年度の16名から更に9名が地域移行し、大きな成果をあげることができました。			
施設所管課の評価	今年度も引き続き、入所者一人一人の生活を大切に、基本的人権を尊重するために、地域移行の推進や生活環境の改善に努めている。また、安心・安全な生活が送れるよう管理運営が行えている。特に、地域移行の推進については目標値を大幅に超える方をその人らしい生活のできる場に移行したことは評価できる。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、縮減に向けた努力を行っている。	B	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	《③の総括》		B	B
	指定管理者の自己評価	立替払いでの管理にしたことで効率化が図れ適切に帳簿や金銭の管理が実施できている。経費縮減にも取り組み、人件費の増加は民営化を見据えたものであり全体的な収支状況は妥当と考える。		
	施設所管課の評価	物価高騰の中、経費削減に取り組み、適切な運営をおこなえている。今後も安定した運営ができるよう努力いただきたい。		
総合評価	①②③を合わせた総合評価	B	B	
所見 (成果・課題等)	<p>令和6年度は利用者主体支援、職員研修、適正人員配置、法令遵守点検を徹底し、サービス履行に努めました。地域移行も9名増と大きな成果を上げ、施設修繕や地域交流イベント実施により、利用者満足度向上に貢献しました。予算執行もお概ね計画通りで、経費削減も行い安定運営ができました。</p> <p>今年度も引き続き利用者主体の支援を基本とし、生活環境の改善に努めて、安心・安全な生活が送れるよう管理運営が行えている。民営化後は、利用者主体の支援を続けるためにも、安定した経営ができるよう努力していただきたい。</p>			

各項目の評価基準

区分	項目評価	基準
評価基準	A (優良)	事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ : 110%以上
	B (良好)	ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ : 90%以上~110%未満
	C (一部良好でない)	一部を除き、事業計画どおりである 一部を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ : 70%以上~90%未満
	D (良好でない)	事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ : 70%未満
総括	A (優良)	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B (良好)	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C (一部良好でない)	評価基準がすべてC以上である
	D (良好でない)	評価基準にDが含まれている
総合評価	A (優良)	評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である
	B (良好)	評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である
	C (一部良好でない)	評価基準がすべてC以上である
	D (良好でない)	評価基準にDが含まれている